

行って
みよう

めぐって学んで五感で
味わう紫波探訪

あたたかい人がいる、いこいの場所がある。
見て、聞いて、学んで、知って、味わって。
五感で味わう紫波の魅力をご紹介します。

白く可憐なミズバショウ、 春を見つける山屋の花めぐり

ミズバショウ群生地のある山屋地区の「峠のミズバショウ広場」で5月3日(水・祝)、ウ広場」で5月3日(水・祝)、「山屋ミズバショウまつり」が開催されます。今年で13回目を数え、毎年約400人の見物客が訪れる一大イベントです。

地元の「森の山寺塾・紫波」や、婦人会、紫波フルーツパークも出店。地元産そば粉で作られるそばや郷土料理、イワナやアユなどの焼き魚、産直コーナーなど、楽しみが盛りだくさんです。まつりの最後には、餅まきも行われます。



平成15年から2度の工事が行われ、湿地とミズバショウ保護のための見学用木道が整備されました(写真は左上:平成27年、右:平成28年)

第13回山屋ミズバショウまつり

■日時 5月3日(水・祝)午前10時~午後3時
午前11時~ 山屋田植踊公演(第1回)
午後1時30分~ 山屋田植踊公演(第2回)
午後2時40分~ 餅まき

■会場 峠のミズバショウ広場(山屋地区)
■問合せ ☎676-2292(山屋夢楽づくり実行委員会 菅原)※問合せは午前6時30分~8時、午後6時30分~8時をお願いします。

まつりを主催する山屋夢楽づくり実行委員会の菅原委員長は「ハンノキ林とミズバショウの美しい眺め、周辺にはカラマツやシラカバが生える自然の空気を、存分にお楽しみください」と語ります。まつりでは、国の重要無形民俗文化財に指定されている「山屋田植踊」の公演も行われます。華やかな笠ふりなどの舞で五穀豊穣を祈る、伝統芸能を堪能しませんか。

会場は「峠のミズバショウ広場」への道中、山屋地区の見どころにも立ち寄りてみませんか。山神社を過ぎて間もなくの場所にある「山屋館経塚」は、経典が埋納された遺跡であり、出土したつぼなどから、平安時代に造られたと推測されている歴史ある場所です。町内の春を見つめる花めぐりを家族や友人同士で楽しんでみませんか。



「また来たい!」と
思っていたら、このように、
楽しく盛り上げます!

岩手県の「元気なコミュニティ特選団体」に認定された山屋夢楽づくり実行委員会。委員長の菅原正勝さん



山屋田植踊の数ある演目の中で、田植えの様子を表現した「早乙女の笠ふり」(写真は平成27年)

